

えすぽわーる

えすぽわーる新函館はJA新はこだてとみなさんをつなぐコミュニケーション誌です

3

2017
No.175

— SHINHA KODATE —



JA新はこだて

<http://www.ja-shinhakodate.jp/>



CONTENTS

- ② 道南を農す
- ④ **特集2** JA北海道大会 実践フォーラム2 パネルディスカッション
- ⑥ 担え！ニューホープ
～新規就農者紹介～
- ⑦ Focus the JOB
～JAの仕事を紹介します～
- ⑧ トピックス
より一層の共済推進を誓う
LA共済推進決起大会 他
- ⑪ Focus the JOB
～JAの仕事を紹介します～
- ⑫ 組合員懇談会開催結果報告
- ⑮ JAグループ通信
- ⑯ 理事会報告
- ⑰ 投稿広場 他
- ⑱ 新鮮食材で楽しくクッキング

第11回 ご当地キャラ紹介

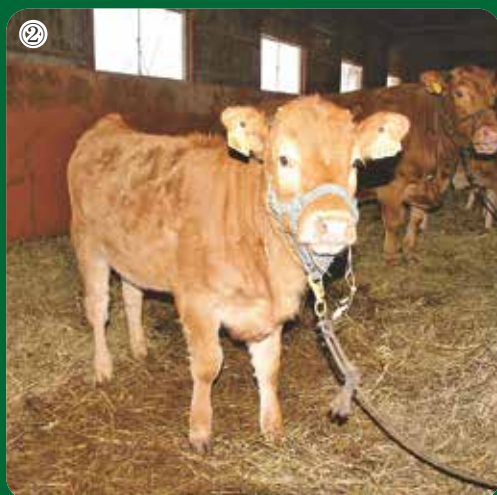
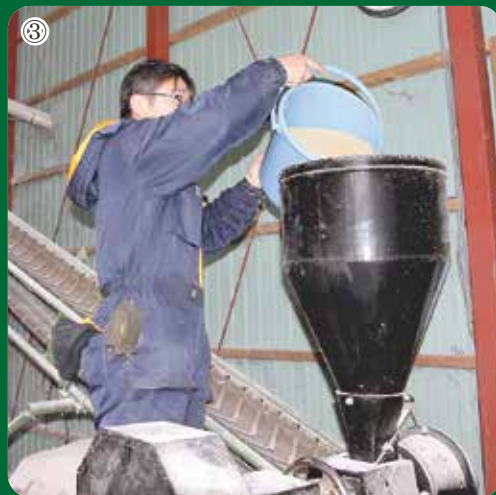
木古内町 キーコ



はこだて和牛をイメージした真っ赤な牛のキーコくん。新幹線開業ではまちの看板として、たくさんのイベントなどで大活躍でした。



最新情報はfacebookで！▶



- ① 毎日、朝夕の2回 給餌をしながら、牛の状態をチェックする。
- ② 生後3ヶ月ほどの仔牛は、体が小さくてかわいかったです。
- ③ 餌には地元の飼料米を6%、ビールかすを25%配合。嗜好性が高まる効果があるという。今年は飼料米の比率をさらに高める予定。
- ④ 昨年11月の北海道あか牛枝肉共励会では、岡山さんの「翔」号が最優秀賞など、肥育生産者全員（部会員）が受賞した。



「肉は冷凍すると味が変わるので、買ったらすぐに食べてほしい」と岡山さん。

新幹線でチャンスを迎えて

「3年くらい前から赤身の肉を重視する人が増えてきている。はこだて和牛は時代にあっている」と手ごたえを語るのは、あか牛生産振興会の会長を務める岡山徹さん。ご両親・奥さんと4人で営農する。はこだて和牛は、柔らかく肉本来の味わいが伝わる赤身が特長。「ヘルシー志向が高まっている。高齢化の影響かな。それとも本場熊本にあか牛ブームも影響するのかな」と分析する。

そして今、さらに大きなチャンスを迎えている。

「新幹線開業で、最初に止まる駅なのでやっぱり効果を感じる」と岡山さん。地元商店街ではそれぞれ工夫を凝らしたはこだて和牛のオリジナルメニューを考案。井にコロッケ、ハンバーガーなどバラエティ豊か。テレビなどでも取り上げられ、知名度が上がっている。

褐毛和種（はこだて和牛）

木古内町建川
おかやま
岡山 徹さん(53)

やっと時代が追いついた！
ブランドをさらなる飛躍へ

特集 JA北海道大会実践フォーラム パネルディスカッション 第2回 ～ 道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりに向けて ～

前回に引き続き、昨年11月2日に行われたパネルディスカッションの様をお伝えします。会場ではテレビ「あぐり王国北海道NEXT」の内容も紹介されました(写真)。



コーディネーター



宮入 隆 氏
北海学園大学 教授

パネリスト



高橋 優 氏
JAきたみらい 常務理事



河野 真也 氏
タレント



高橋 さやか 氏
食育フリーマガジン FoodEvo 編集長



森川 純 氏
北海道新聞社 論説委員



高橋 和則 氏
JA北海道中央会 総合企画部長

次世代をばぐくむ農業の力

高橋部長 JAきたみらいは、子供を対象にした農業経験・体験の取り組みが特徴的です。次世代に向けて農業や農村、JA、協同組合を知ってもらう取り組みであり素晴らしいと思います。こういった取り組みは、更にパワーアップして取り組んで頂きたいです。



宮入教授 高橋常務の事例発表で、今までの地域づくりを超えた人づくりというキーワードもありましたが、この点はいかがでしょうか。

河野氏 あぐり王国では、毎回小学生と一緒に農家さんのもとで色々な体験をさせてもらいましたが、中には農家さんをかっこいいと思って、農業高校に進んで農家さんになった子もいるんです。やはり、子どもの時の体験って大切だなと思います。たとえ農家さんにならなくても、その頃の体験ってずっと忘れないと思います。だから子供の時に色々な体験をさせるのは、すごく大事だと思いました。

宮入教授 継続して関係性をつくれるか、そのきっかけがまず1回目の体験にあるということですね。

河野氏 それがまさにサポーターだと思います。ファンになって、サポーターでもあるという姿ですね。

高橋編集長 事例発表の中でも、地域の方と一緒に取組みの参加人数が一番多くて、やはり地域の方を巻き込んで何かをしていくことが大切なのだと思います。

例えば、子育てサロンの中に地域の農家の方が参加し

てその場で直売したり、農家のお母さんが来て子供も交えながら料理教室をやったりという地域との関わりがあると、子育て中のお母さんの不安もなくなったり皆がつながったりしていき、ファンになってサポーターになってという流れができていくのかなと思います。



宮入教授 子育てに苦労するお母さんにこういった支援ができるか、そのような点で地域を巻き込む先頭に農協さんがいても頼もしいと思います。

森川さん、取材の経験などから北海道の農業について言えることがあれば教えて頂けますか。

森川氏 北見にいた時、カレーライスマロンというイベントがありました。マルソンの途中で具材を貰って、カレーをつくって食べるという行事です。こういったものを通して農業が、特に子供にとって身近になると思います。また、今の野菜は多くがF1ですが、子供に命の育まれ方を伝えるという点でも在来種には魅力が一杯詰まっていると思います。私も農家の方と一緒に札幌黄の苗を作っていますが、玉葱を植えると白いぼんぼりの花が咲き、何千もの種が実る、そんな姿を見ると魅力が増すのではないかと思います。

まずは知ってほしいことが

宮入教授 単発ではなく、息の長い形で関わる取り組みがあれば教えてください。

高橋常務 北見では毎年秋ごろに菊まつりという行事があり、今年はハロウィンとの相乗効果を狙いました。春からかぼちゃの苗を育てて、市民に無料で提供しました。作り方も指導して、できたかぼちゃを会場に持ってきてもらう試みを初めて行いました。毎日作物が大きくなる姿を見ることができ、収穫までの喜びが伝わるという点で良かったと思います。仮装コンテストも若い人たちが200人位集まり賑わいました。育てる喜びを伝え、町を元気にするために良かったです。こういった取り組みをもっと少し広げたいと思っています。



河野氏 ハロウィンって元々収穫祭ですよ。北海道は色々なものが収穫できますから、お祭りが各地で立ち上がればいいなと思います。そして、まずは何でもいいので話題になることが大切だと思うんです。その後、素晴らしいものを知って貰えたらいいですよ。例えば農家さんがクオリティの高い仮装で直売所に並んで野菜を売るとか。これ多分テレビ取材が来ると思うんです。話題作りで変わったやり方をするJAさんがあってもいいと思います。

宮入教授 いいですね。変わったことでまず一回引き付けて、それを入口にするというんですね。

河野氏 苦労します、という話はいっぱい出てくるんですよ。皆さんがそれぞれ一生懸命お仕事をされ

ていることは僕らも取材で理解しました。でも入口はそこだと難しく、多分テレビ番組を作るときに考えるのは、出演者のリアクションだと思います。視聴者も、例えば誰も知らないスポーツ選手の苦勞話には食いつかないと思います。でもその選手が有名になってから、実はこんな苦勞がありましたってなれば応援すると思います。だからまずは話題を作って知って貰うことが大事。それから食べてファンになって貰う。

取材に行つて思つのが、農家さんは天気を見るから上を向いてるんです。僕はこれが好きで、生き生きとした様子を伝えるためにも暗いことばかりじゃだめだと思います。辛いこと、大変なことは後から知って貰えばいい。まずは素敵だな、明るいなと思つて貰える情報が発信されたらいいなと思います。

宮入教授 楽しいことや見て貰いたいことを前面に出すことが入口として大切だし、地域の人にどんな姿を見せるかにも関わると思います。

まとめ

宮入教授 農協に対する色々な期待を活かし、道民すべての人をサポーターにすることは非常にチャレンジングな話ではありますが、決して夢物語ではありません。生まれた時、子育ての段階から、高齢者になるまで、農協が色々な世代の人たちに関わる場面は今後もあると思います。どういった場で、誰に対してどのように発信するかということを考えて頂ければと思います。



給餌している倉田さん



～農家の現場へズームイン～ となりの農家さん

若松

地域農業の発展に向けて

倉田 健さん(48) 酪農

せたな町瀬棚区共和の倉田健さんは放牧酪農をメインとした21頭の経産牛を飼養している。元々は自分の牧場を持つことが夢で、経営継承の話があり11年前にせたな町で新規就農した。

倉田さんは農業担い手受入協議会の役員を務めており、昨年は町内外の様々なPR活

動に参加した。新規就農者を増やすためにSNSを活用することや就農を考えている人に会うなど、町の農業をアピールしたいとの事。「自分の経営だけではなく、地域活性化や後の世代も農業に希望が持てるよう先のことも考えたい」と今後の抱負を語った。

〈取材 若松支店 鳥倉 健太〉

大野

品質の良いウドを！

宇野 芳樹さん(30) ウド



ウドを収穫している宇野さん

北斗市東前の宇野芳樹さんは、ウド栽培を行っている。その他にも水稻、花卉(カーネーション・アルストロメリア等)を作付している。

今年の出来栄は？という問いに「例年に比べて、今年はウドの株の出来栄が非常に良かった為、良いウドが収穫出来ている」と話す。ウド

は地温で出来栄が左右する為、地温ヒーター等で地温を約20度に保つよう心がけ、日々作業をしているとの事。今後について「適切な温度管理を今後も続けて、品質のよいウドを作って行きたい」と抱負を話した。

〈取材 大野支店 藤澤 純二〉

担え! NEWHOPE

ニューホープ

新規就農者をご紹介



農業の担い手不足が叫ばれる昨今。その一方で、希望を持って新たに農業を始める方もたくさんいます。地域の期待を担う“ニューホープ”さんにインタビューしました。

自分のやり方でさらなる収量の向上を目指す

知内町 重内 沼崎 航平さん(25)

経営内容: ニラ 48a
営農歴: 6年目(経営移譲: H28)

●これまでの経緯を教えてください。

母方の祖父が知内町で農業をしており、小さい頃から農業の手伝いをしたことがなく、まったくの未経験でしたが、19歳の時に生まれ育った札幌市を離れて、1人で農業をやるためにきました。初めてやる農業に対して不安などは特にありませんでした。最初の一年は言われた通りに動くことに精一杯で、あっという間に過ぎていきました。

●経営を引き継いだ感想を教えてください。

祖父から経営を引き継いで1年経ちましたが、農業を始めた時から営農計画書・税金申告などを経験していたので、その面では以前とあまり変わらないです。経営主になって、自分の名前が出る機会が多いので、気を引き締めて営農しています。以前のやり方を変えようと取り組んでもいますが、中々うまくいかなくて苦労しています。

●今後の目標などについてお聞かせ下さい。

反収を上げて、より良い品質のものを生産することが今後の目標です。そのために、今年から肥料を変えるなど、新たな取り組みにも挑戦しています。収量も年々増えているので、結果が目に見えてわかるのが嬉しいです。まだまだ未熟な点がありますが、勉強しながら収量の向上に向けて努力していきたいと思っています。

〈取材 知内支店 尾辻 凌〉



▲ニラの出荷作業をする航平さん



「豆柴と遊んだり、ゲームをしたりしてリフレッシュしています」と航平さん。



餅つき体験で笑顔の子ども

八雲

風の子もちをPR 第30回記念八雲さむいべや祭り



八雲町もち米消費拡大推進協議会は2月5日、噴火湾パノラマパークで開かれた「第30回記念八雲さむいべや祭り」に参加した。

北渡島地区青年部落部支部の部員が、そろいの法被姿で風の子もちの餅つき囃子を披露。餅つき体験では子供達が力を込めて餅をついた。終わりに雑煮を無料で振る舞うと、100人分がすぐに底をつく人気に。

長谷川公彦副会長は、「盛大に終了して良かった。風の子もちを応援してほしい」と観客に呼び掛けた。

節目の年を盛大に祝う

人参共撰部会が30周年記念式典



七飯町野菜生産出荷組合人参共撰部会は、設立30周年記念式典を2月7日に開催して、部会員に加え、JAや町、市場など50名が参加した。

入江隆部会長より、「部会の結束力を高める意志を再確認し、設立40周年へ向け、発展の約束を誓い、関係機関、市場のご協力を依頼したい」と式辞を述べた。

式典では、河村康英さん他3名の歴代部会長へ感謝状の贈呈、また、昭和62年、部会発足からの「30年のあゆみ」として、出来事を振り返った。

▼賑やかに執り行われた式典の様子



七飯

冬の山海の味覚が満点 「鍋まつり」がにぎわう



あぐりへい屋は2月の週末、毎年恒例の鍋まつりを実施した。道南の味を求めて大勢の客が集まった。

11・12日には北斗産の長ねぎや厚沢部産の馬鈴薯が貝だくさんの「ごっこ汁」を、25・26日には知内の特産を使った「カキニラ鍋」をそれぞれ提供。あわせておにぎりも販売して人気を集めた。

1杯200円の格安だけあって、提供前からたくさんの客が集まる人気に。寒い冬にふさわしいあつあつの鍋を味わっていた。

▼大鍋いっぱい作ったごっこ汁を提供



あぐりへい屋

販売額 4 億円達成を盛大に祝う

檜山南部南瓜生産組合が記念式典



檜山南部青果物連絡協議会南瓜生産組合は2月7日、平成28年度の販売額4億円突破を祝う記念式典を厚沢部基幹支店で開いた。厚沢部・江差・乙部から生産者と関係者60名が出席し、さらなる発展を誓った。

28年度は、天候不順が災いし出荷量は減ったものの、好市況により販売額は前年比110%となった。

式典で佐藤龍也組合長は「生産者の努力と関係機関のご指導により4億円達成につながった」と挨拶。続いて初代組合長の伊勢谷達志さん・2代目組合長の松橋光義さんに感謝状が送られた。

▼「今後も消費者に喜ばれる高品質な南瓜を生産したい」と抱負を語る佐藤組合長



厚沢部



出席者全員でこぶしを振り上げガンバロー三唱

共済

より一層の共済推進を誓う

LA 共済推進決起大会



共済課は2月3日、「平成29年度LA共済推進決起大会」を開いた。共済LA（ライフアドバイザー）28名全員が一堂に会したほか、輪島専務以下JA役職員、共済連職員が集まり、一層の推進を誓った。

はじめに輪島専務から「平成28年度計画の達成、素晴らしいです。引き続き頑張り期待します」と激励。続いて優績LAを表彰。最高位となる組合長賞には大野支店の佐藤公紀職員、以下、知内支店の小澤祐司職員、厚沢部支店の近藤裕美職員、大野支店の大森利久係長が選ばれた。

終わりに、厚沢部支店の上野司職員が目標必達に向けて決意表明。出席者全員で更なる努力を誓い合った。



◀「組合長賞」の表彰を受ける佐藤公紀職員

日ごろの感謝を花にこめて

フラワーバレンタイン



七飯支店の富原明広営農センター長と花卉課は2月14日、営農センターの女性職員にバラをプレゼントした。「フラワーバレンタイン」という男性から女性へ花を贈る企画で、近年、花卉業界が普及を図っている。

花卉課の男性職員が感謝の言葉とともに花を差し出すと、女性職員ははにかみながら笑顔で受け取った。

花卉課の明戸政人課長は「お世話になっている方や大切な方に、花を添えて感謝の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか?」と呼びかける。

▼バラの花を手渡す職員

七飯



歴代部長、事務局らに感謝状を贈る

大野

設立 10 周年の節目を盛大に祝う 北斗地区青年部が記念式典



北斗地区青年部は2月15日、設立10周年を祝う記念式典と祝賀会を開き、さらなる結束と発展を誓い合った。部員やOB、来賓など約60名が出席した。

齊藤哲也部長が「地域農業発展へ、青年らしく柔軟な発想で活動を展開したい」と式辞を述べた。祝辞では畠山組合長から「一層の発展を」と激励。

また、初代の山上邦臣さんら歴代部長や事務局職員に感謝状を贈呈したほか、田んぼアートなど青年部の取り組みを振り返った。



みなさまが相談しやすい支店を目指します



支店長からのひとこと

八雲基幹支店 支店長
やま だ しげ あき
山田 重明

皆様のお役に立てる、地域一番店を目指して職員一同頑張っております。ご来店をお待ちしております。

落部支店、長万部支店では金融・共済・資材業務を行っており、年金受給口座獲得や自動車共済のグレードアップ推進に力を入れております。

落部支店では、コミュニケーションを大切に相談しやすい環境づくりに努めております。

長万部支店では、お客様の気持ちに沿った接客を心がけ、いつでも気軽に立ち寄れる支店を目指しております。



長万部支店

山越郡長万部町字長万部 450 番地 1
TEL:01377-2-3122
FAX:01377-2-2914



落部支店

二海郡八雲町落部 28 番地
TEL:0137-67-2111
FAX:0137-67-2114



道南稲作の歴史語る 函館で語り部交流会 in 北海道



ふっくりんこにつながる道南の稲作の歴史をたどる「語り部交流会in北海道」が2月2日、函館市民会館で開かれた。市民300人が聴講した。

はじめに北斗市教育委員会の森靖裕学芸員とフリーアナウンサーの平野啓子氏が、北海道初となる稲作の歴史や伝統、文化を紹介した。

続いて、三浦治米穀課長など5名のパネラーが品種改良や灌漑を解説。三浦課長はふっくりんこに関する様々な取り組みをスライドで振り返った。



米穀

税理士から確定申告を学ぶ 森地区税務対策講座



森支店は2月10日、同町基幹集落センターで税務対策講座を開いた。確定申告を前に、税の理解を深めるのが狙い。組合員19名が参加し熱心に耳を傾けた。

函館の藤代英一税理士を講師に迎え、約2時間にわたり講義。青色申告の利点、収入や費用の考え方、書類の書き方など幅広く解説した。

藤代税理士は「間違いや漏れの無いようにしっかりと帳簿を締めて下さい。収入は全部を計上することが大切です」と呼びかけた。

▼藤代税理士の話聞き入る組合員ら



森

法人 N



▲パネルディスカッションでは法人化への指針を示した

法人設立要点学ぶ 道南地区農業法人セミナー



農業生産法人ネットワークは、1月31日にせたな町、2月1日に北斗市でそれぞれ道南地区農業法人セミナーを開いた。行政やJA、農業者が熱心に耳を傾けた。

北海道農業会議の水尻恵太技師が「農地所有適格法人の設立について」と題し講演。経営基盤強化に向けた法人設立で、目的を明確化する必要性を強調した。

パネルディスカッションでは、(有)サクセス森の高瀬幸巳代表など農業法人代表や青年部の木村卓也部長らが議論。法人化のメリットや課題などを話し合った。



法人 N

農業生産法人ネットワーク 農林水産省との懇談会



農業生産法人ネットワークは2月9日、函館市内で農林水産省との懇談会を開催した。同ネットワーク会員、農水省職員、JA役職員など24名が集まった。

食料自給率について、農水省生産資材対策室の今野(いもの)室長が「原料原産地表示など、国民に国産を選んで頂ける仕組みづくりに力を入れている」と説明。また、会員から「未相続地の整備に柔軟な対応をお願いしたい」など要望が寄せられた。

その他、各種助成制度などに様々な意見が挙がった。

組合員懇談会 開催結果報告(要約版)

- ◆開催期間：平成28年12月5日（月）～12月7日（水）
- ◆開催状況：12地区・9会場で開催
- ◆出席状況：対象者数2,305人、出席者数193、出席率8.4%

※要約版でありますことを予めご了承ください。

◇…JAからの回答

【総務部関係】

1. 女性参与の登用は次期改選からです。また、選出方法や理事会出席等について説明願いたい。
- ◇ 平成30年の改選期に向け、女性部員・女性農業者から選出することを検討しています。選出にあたっては、役員推薦会議と連動して、参与を推薦する選任検討委員会（仮称）を立ち上げる予定で考えています。

参与は、理事会へ出席し、その

立場から必要な意見を述べることはできますが、議決権を有しないことで整理いたします。

2. 女性役員の割合を早期に10%にしなければどうなるのか。
- ◇ 国が示す「総合的な監督指針」では、女性の農協役員等への登用について、
 - ① 女性役員が登用されていない組織数を平成32年度までに〇（ゼロ）にする。
 - ② 役員に占める女性の割合を早期に10%、平成32年度までに15%を目指す。などを成果目標として設定し、女性の参画拡大に向けた取組をより一層促進することが求められており、女性登用が進まなければ定期的なフォローアップの実施及び指導等も想定されます。

3. 中期経営計画で「職員の能力向上」とあるが、それに向けた職員教育・指導はなされているのか。農協の指導は数字だけに拘り、単に実績を上げるだけのよう感じるが。
- ◇ 上位者や中間指導職の部下育成を目的にした指導の実践により、課内職員のスキルアップやOJT

が習慣付けられます。そのために、コンプライアンスや階層別の研修を毎年実施するとともに、業務に必要な専門的な研修も検討していることから、今後もより一層組合員との信頼関係を深めるよう取り組んでまいります。

4. 数年かけて育てた職員を異動させないでほしいという要望は、地区役員にお願いすれば良いのか。
- ◇ 地区役員または支店長等ではなく、人事異動については支店の意向を踏まえた中、組合長の専権事項として決定されていますので、全ての要望に応えることはできないことをご理解願います。

【信用共済部関係】

1. 組勤払出等において、口座番号を窓口にて代筆願えないものか。
- ◇ 事務手続ルールに則り、代筆はできませんのでご理解願います。

【農業振興部関係】

1. 第5次地域農業振興計画において、農業所得20%増大との目標を掲げているが、現実的に可能なものか。

◇ 「農業所得20%増大」は、昨年11月に開催されたJA北海道大会において決議された目標ですが、達成には高いハードルであると感じています。平成29年からの第5次地域農業振興計画は、各地域の強みを活かした主要農畜産物の更なる価値の創出と収量・生産性向上やコスト低減の取組みにより、地域全体で20%アップすることを目標値として掲げており、低所得者の底上げも目標実現に向けた大事な要素となります。農業所得20%増大は生産資材等10%コスト削減と生産・販売面で10%の引き上げを目標として取り組んでまいります。

2. 生産人口の減少をどのように捉えているのか。対策をねっていかなければならない。
- ◇ 農業人口減少に伴う離農跡地の受け皿をどうするかという問題が起きると思われませんが、農業法人が対応策のヒントになると考えます。当農協には農業法人ネットワークという組織もあります。農協は、地域農業の10年後を考える場をつくり、どのような対応策があるかという選択肢を提示しながら、組合員とともに対応策を考え

てまいりたい。

3. 当地区は複数の行政をまたいでおり、農業振興の支援に対し行政間の考えに温度差があり足並みがそろっていないが、農協は課題解決に向けてどのような対応をするのか。

- ◇ 各町に対して行政支援を働きかけて、足並みが揃うことが望ましいことから地域の農業振興のためにも、引き続き行政への働きかけを行ってまいります。

4. 生産を伸ばしたいが、パート不足で家族労働だけでは限界にきている。JAでパートを斡旋してほしい。

- ◇ 道南地区は少子高齢化・若者の管外流出が進み、雇用労働力の確保は難しいのが現状です。

- 厚沢部地区では、カンボジアから外国人技能実習生（3年継続）を受け入れており、大野地区でも29年度からベトナムから外国人技能実習生（3年継続）を受け入れる予定です。海外から技能実習生を受け入れるには一年を通しての雇用確保や管理費等が負担となるので支店営農課へ相談願います。

5. 今年も販売額が300億円を達成する見込みのようだが、生産量は計画に達していない物があることから、生産量の確保のための方策はあるか。
- ◇ 組合員により生産レベルに格差があるため、営農指導の徹底により、全体レベルの底上げを図り生産量の維持確保につなげてまいります。

6. 収入が低い組合員への指導について、今まで通りの指導方法ではなく、更に特化しながらやって頂きたい。

- ◇ 今は特化した体制は取組めていないので、今後は営農センター中心に指導を徹底していきます。地域全体の底上げをしながら、農業所得20%増に向けて取組んでまいります。

7. 合併前の農協は女性の正組合員が多数いたが、合併後減少している。増加しない原因は何か、賦課金制度に問題があるのではないのか。

- ◇ 現在家族組合員10000円の賦課金を徴収していますが、これの見直しも考えながら、女性だけでなく青年農業者も含めた中で、

参画しやすい家族組合員の加入条件を今後検討していかなければならないと考えております。

8. 現在、法人化が進んでいるが、実際に法人化したところはうまく機能し、順調に進んでいるのか。また、支店に法人等について相談できる所があるのか。

- ◇ 函館管内は法人化が進んでいる地域ではありませんが、今後人口減少が加速化している地域は一つの選択肢として、法人化も考えていかなければならないと思います。JAが相談窓口になつて進める必要性を感じており、支店営農課で法人に関する相談対応をお受けします。

9. 当支店の第5次地域農業振興計画に法人検討支援とあるが、当地区において現在、TMRセンター設立に向けて動いている中で農協のスタンスはどうなのか。

- ◇ 設立に向けた経営計画相談支援や問題・課題解決等の支援はしっかり行ってまいります。

10. 5次中期計画の酪農畜産部門基本方針で『職員の営農指導能力と飼料管理技術の向上に取組む』と

11. 畜産クラスター事業の使い勝手が悪い。他地域の取組みも教えてください。

- ◇ 全道どこも使いづらいと聞きます。条件となるハードルが高く利用しづらいので、今後も家族経営でも取組みやすい事業の要請を行ってまいります。

12. 当支店の第5次地域農業振興計画の酪農畜産部門で説明があった、子牛の付加価値販売の詳しい内容を教えてください。

- ◇ F1精液の中でも優秀な精液に対して販売額の上乗せなどを検討しています。

13. 市場の個体取引について、早来市場は他の市場と比べて平均10万円の差があることから、中央に市場会場を集約化または市場開催日を集約化するなど高く販売できる方法をホクレンと検討して頂きたい。

い。
◆ 非常に難しい問題ではありますが、ホクレンに要請いたします。

14. 農協の飼料や農薬の価格引下げ、販売物の高単価の努力をしてもらいたい。

◆ 為替相場・原料価格や企業努力・系統組織内努力により、前年対比で肥料は約15%・温床資材は約3.5%・5%価格は下がっており、農協としては更に安価で購入できる「予約取りまとめ購買」を推進しております。また、包装資材については、規格統一などに需要集約による更なる価格低減も、各都会等を通じ協議・検討していきます。

〈以下、要望〉

15. 営農センターの人員不足で現場廻りができていないが改善できるのか、事務局を持たせすぎているのではないか。第5次地域農業振興計画の目標達成に向けた職員の支援を期待し適切な人員配置をしてもらいたい。

16. 賦課金の見直しを要望する。

17. JA出資による施設等で人材育成ができる環境を整備し近い将来

を見据えた人材確保の対応も必要ではないかと思われる。

〔生産販売部関係〕

1. 平成30年産より、米の生産調整が廃止となり、転作奨励金の仕組みも変わろうとしているが、今後の対応について説明願いたい。

◆ 国による生産目標数量の配分が廃止となることから、平成30年産以降も需要に応じた生産を行う為、道や地域の再生協議会が主体となり配分することとなります。今後、需要の拡大を目指し主食用から加工用、新規需要米等を含め、水張りの維持に努めます。また、米の直接支払交付金（7500円/10a）は廃止となりますが、水田活用としての産地交付金は継続されます。現在、交付要件等について見直しが検討されており、生産者の不安を払拭できるよう、情報収集に努め、行政と連携し対応してまいります。

2. 実需、量販に対する提案型販売の取組について、平成27年度は23億円（120億円の19%）と非常に素晴らしい実績であり、今後、どの位まで伸ばす計画か。

◆ 更なる価格の安定化に向け将来的には30%を目標としておりますが、需要に対する数量不足や出荷時期等、応えられていない品目もあります。安定した数量の確保により、伸ばす事は十分可能なことから、収量の向上に努めて頂き、すよつ、お願いします。

3. 新野菜広域流通施設（仮称）建設に係る進捗状況について、説明願いたい。

◆ 七飯町が事業主体となり、町内（中島地区）に用地を取得し現在、地質調査を実施しております。地盤の安定化に2年間要することもあり、平成32年度春稼働を目指し、国費事業化へ向け七飯町と連携し取組んでまいります。

4. 今年も販売実績が好調であり、職員には感謝しており、もっと職員を評価して頂きたい。

◆ 更に評価して頂けるよう、今後中期計画や農業振興計画の達成に向け職員の能力向上に努めてまいります。

5. 6次化対策として、トマト等の加工に取組む考えはないのか。
◆ 加工に取組む前に、地域によ

ては、収量格差が出ていることから、課題である収量の向上にしっかりと取り組むことが先決であります。

〔有〕新はこだて協同関係〕

1. 整備工場で溶接を行える社員が嘱託社員であることから、後継人員の確保を願いたい。

◆ 人員確保については、組合員皆様の利用があつて検討できる事なので、今後の利用を願います。

〈以下、要望〉

2. 厚沢部の機械センターまでは遠いため、新しい集出荷施設に農機具の整備やメンテナンスができる施設を作つて欲しい。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEB
サイトをご覧ください。

JA北海道中央会

平成28年12月に、11月の「農協改革」を巡る一連の経過について、「クミカン制度」を中心に整理した組合員向け資料「ここだけは知っておきたい『農協改革』」クミカン制度は維持されました。」を作成しました。

本資料は農協に改革を迫る議論の背景や、存続が決まったものの一時は廃止が提言された「クミカン制度」の重要性を、対話形式で表現しております。



閲覧はこちら▶

JA北海道信連

JAバンクを多くの人に知ってもらうため、昨年11月に札幌駅前地下歩行空間でPRイベントを行いました。

「ドローン貯キャンペーン」の宣伝や、ちよリスによる「旗揚げゲーム」、コンサドーレの堀米選手・福森選手のトークショー、両選手サイン入りJAバンクグッズの当たる「じゃんけん大会」を実施しました。JAさっぽろの「ローン相談コーナー」も設置し、JAバンクを広くPRできました。



ホクレン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」は、生産者の皆様に向けたイベントや新商品情報、生産資材（飼料や農薬等）価格、乳価等の営農情報をタイムリーに発信しています。

今後は市況情報やAコープのキャンペーン情報の発信も予定。生産者の皆様に役立つ情報を発信して参ります。お手持ちのスマートフォンやPC（http://hokuren-news.jp/）から登録ください。



登録はこちら▶

JA共済連北海道

住宅等の建物修理で、共済（保険）請求を悪用したトラブルが全国で多発、消費者相談センター等へ相談が増えていますので十分にご注意ください。

不正修理業者が自然災害事故を装い「共済金（保険金）が出るので自己負担無しで修理ができる」という内容で高額な見積り金額の契約を交わし、解約すると高額な違約金を請求されることがあります。トラブル防止のためには、建物関係の事故が発生した場合、まずご加入先のJAへお問合せ下さい。

JA北海道厚生連

【旭川厚生病院で「土曜ドック」を！】

旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話でお問い合わせください。
※完全予約制
TEL0166-33-7171 (F) 2146・2198



みんなのまるめ即売場

プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で **3** 名様に、以下の **3** 種類から好きな商品を **3** 袋お送りします。
希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン
(1袋2食入り)

農協のトマトカレー
(1袋1食入り)

はこだて産
本格いかめし
(1袋2杯入り)



あて先

クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号

JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566

✉ E-mailアドレス shinya.toda@ja-shinhakodate.com

2月号の当選者

今月は9件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

前回の答え
ニラー油

クイズ当選者

八雲町 リンリンさん

八雲町 カズPさん

北斗市 Sさん

クイズ

今月号のえすぼわーの中から答えを探してください!

Q

あぐりへい屋鍋まつりの
第1弾はこちら、○○○汁。
優しい味のおすましに、大きな馬鈴薯や
シャキシャキのねぎがボリューム満点で
とてもおいしかったです!(ひらがな3文字です)



読者の声

たくさんのご応募、
ありがとうございます。



厚沢部町 ソラパパさん

インフルエンザにかかって1週間学校を休んだ! by 小3ソラ



せたな町 ぷつくりんこさん

知内のニラ共同施設の計量結束や横ビロー包装機のパフォーマンスに驚きました。家での作付けはしていませんが、気になって真剣に見てしまいました。今時の機械化はすごいですね。



北斗市 Sさん

抽選人数3名は少ないのでは? えすぼわー読者増と賞品のPRを兼ね最低でも30個とか!



北斗市 おていちゃんさん

ニラもカキも大好きです。栄養も満点ですよ!



八雲町 クロニヤンさん

昨年末に娘の軽に赤信号無視のワゴン車が突っ込んで車は大破。娘はヒザにアザだけですみましたが、JA共済さんいろいろな世話になりました。ありがとうございました♡



八雲町 モーモーさん

農家さんのコーナーで新しく北村さんのような新規就農してくれる方が増えると良いですね。＼(^_＼)



八雲町 リンリンさん

特集1では知内ニラ共同調整包装施設が完成の記事では施設の様子がよくわかって良かったです。これまでの生産者の皆様のご努力がうかがえます。



八雲町 カズPさん

ことしもえすぼわーるじっくり読んでみてクイズにも応募します。

▶ 理事会開催報告

第1回理事会(定例)

日時:平成29年2月24日(金) 10:30~
場所:北斗市総合分庁舎

報告事項

- | | |
|------------------------------|-------------------------------------|
| (1) 平成28年度第4四半期内部監査報告について | (8) 平成29年度事業計画基本方針(株新はこだて協同)について |
| (2) 平成28年度内部監査室年間業務活動報告について | (9) 平成29年度事業計画<取扱・収支>(株新はこだて協同)について |
| (3) 金融機関貸付の実行について | (10) 平成28年台風10号に対する金融対策結果について |
| (4) 利益相反取引に係る包括承認貸付の実行報告について | (11) 遊休資産の処分状況(平成28年度末現在)について |
| (5) 組合員の異動について | (12) 第4四半期の資金運用状況について |
| (6) 第1回ALM委員会の開催について | (13) 機構の一部改正について |
| (7) 平成28年度決算((有)新はこだて協同)について | |

議案

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1号 育児および介護休業規程の一部変更について | 7号 金融機関への貸付について |
| 2号 ハラスメント防止規程の制定について | 8号 平成29年度経営定期点検実施計画について |
| 3号 セクシュアルハラスメント防止規程の廃止について | 9号 職員への期末手当の支給について |
| 4号 宅地等供給事業実施規程の一部変更について | 10号 平成28年度決算について |
| 5号 財務管理規程の一部変更について | 11号 平成28年度剰余金処分(案)について |
| 6号 檜山南部地区小麦・大豆調整施設新設工事に係る施主代
行施行による取り進めについて | 12号 平成29年度事業計画<収支>の一部変更について |

第15回通常総代会開催のご案内

第15回通常総代会を下記日程により開催致します。
総代皆様のご出席を賜りますよう宜しくお願い致します。

◇日時:平成29年4月14日(金) 午前10時~

◇場所:北斗市総合文化センター「かなでーる」大ホール

◇議案:平成28年度事業報告 他



総代の役割とは...

JAの運営は組合員全員の総意に基づいて行われなければなりません。そのためにJAとしての統一した意思を決定する場が「総代会」です。

各地域より選出された「総代」は、総代会においてJAの運営方針などについて議論を行い、議決権を行使します。正組合員の中から選出された総代は、いわば日本における国会議員のような存在。組合員の代表としてJAの将来を決定する大切な役割を担っています。



合併15周年記念ハワイ旅行

たくさんのご参加ありがとうございました

2月2日~7日の6日間、合併15周年を記念してハワイ旅行を行いました。

“常夏”のハワイ島やホノルル島で、21名の参加者の皆さまに、歴史や文化、そして自然の魅力あふれる観光を満喫して頂きました。最終日の晩餐会“JA新はこだての夕べ”では、ビンゴゲームや江差追分で大変盛り上がりしました。

この度の旅行は、参加者の皆さまとJAのつながりを深める良い機会になったと実感しています。たくさんのご参加ありがとうございました。



カメハメハ1世の像の前にて

↓応募用紙はこちら(切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)

応募締め切り 3月22日(水)(当日消印有効)

※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせていただきます。

キーワード

ご希望のプレゼント

※下記のいずれか1つに○を付けて下さい

農協ラーメン・農協トマトカレー・函館産いかめし

住所	〒		
氏名	年齢	TEL	
ペンネーム	才		
組合区分	正組合員・准組合員・その他 ※○を付けて下さい		

コメント ※広報紙へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線



新鮮食材で 楽しく クッキング

料理研究家 ● 波多野充子

1食当たり
約179kcal

アスパラガスとネギのチーズ焼き

point

アスパラガスとネギという、2種の香りと食感が楽しめる一品です。アンチョビとチーズの塩気があるので塩は控えめにしましょう。パルメザンチーズを掛けると香りが豊かになりますが、なければピザ用チーズだけでもOK。卵はお好みの焼き加減でどうぞ。

材 料(2人分)

アスパラガス(大)	4本
ネギ	1~2本
ピザ用チーズ	50g
パルメザンチーズ	少々
アンチョビ	1片
卵	1個
オリーブ油	少々
塩・こしょう	適量

作り方

- (1) アスパラガスは根元の堅い部分を切り、茶色いはかまを取る。ネギはアスパラガスと同じくらいの長さに切る。
- (2) アスパラガスとネギを塩少々を入れた熱湯で、3~4分ゆでて水を切る。
- (3) 耐熱皿に薄く油をひき、アスパラガスとネギを並べた上にアンチョビを小さくちぎりながら載せる。
- (4) ピザ用チーズを全体に載せ、パルメザンチーズを掛ける。
- (5) 卵を載せて、230度のオーブンあるいはオーブントースターで11~12分焼いて、こしょうを掛けて出来上がり。

編集後記

もうすぐ春分です。暦の上では春になります。元はお彼岸で、先祖を祀り五穀豊穡を祈る日だそうです。

西洋でも春を祝う風習があるそう。イタリア映画『フェリーニのアマルコルド』では冬の魔女の人形を燃やす祭りが描かれます。北中欧にもワルブルギスの夜という祭りがあります。何か日本と共通する物を感じませんか？

(真)

facebookページ更新中!

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。



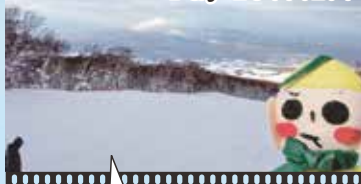
JA新はこだて facebook

検索

まるめ郎アルバム

題名:マルメロード第50章

Day:2017.2.4



七飯スノーパークにやってきました。ゴンドラ乗って上まで来たけど、景色もコースも最高!!

緊急時のご連絡先

※業務時間内
(平日9時~17時)には
ご契約の支店に
ご連絡ください。



お車の事故・トラブル

☎0120-258-931

(JA共済事故受付センター)

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難

☎0120-944-904

(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス

☎0120-063-931

(JA共済サポートセンター)

JAクレジットカードの紛失・盗難

☎0120-159-674

(三菱UFJニコス株式会社盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。